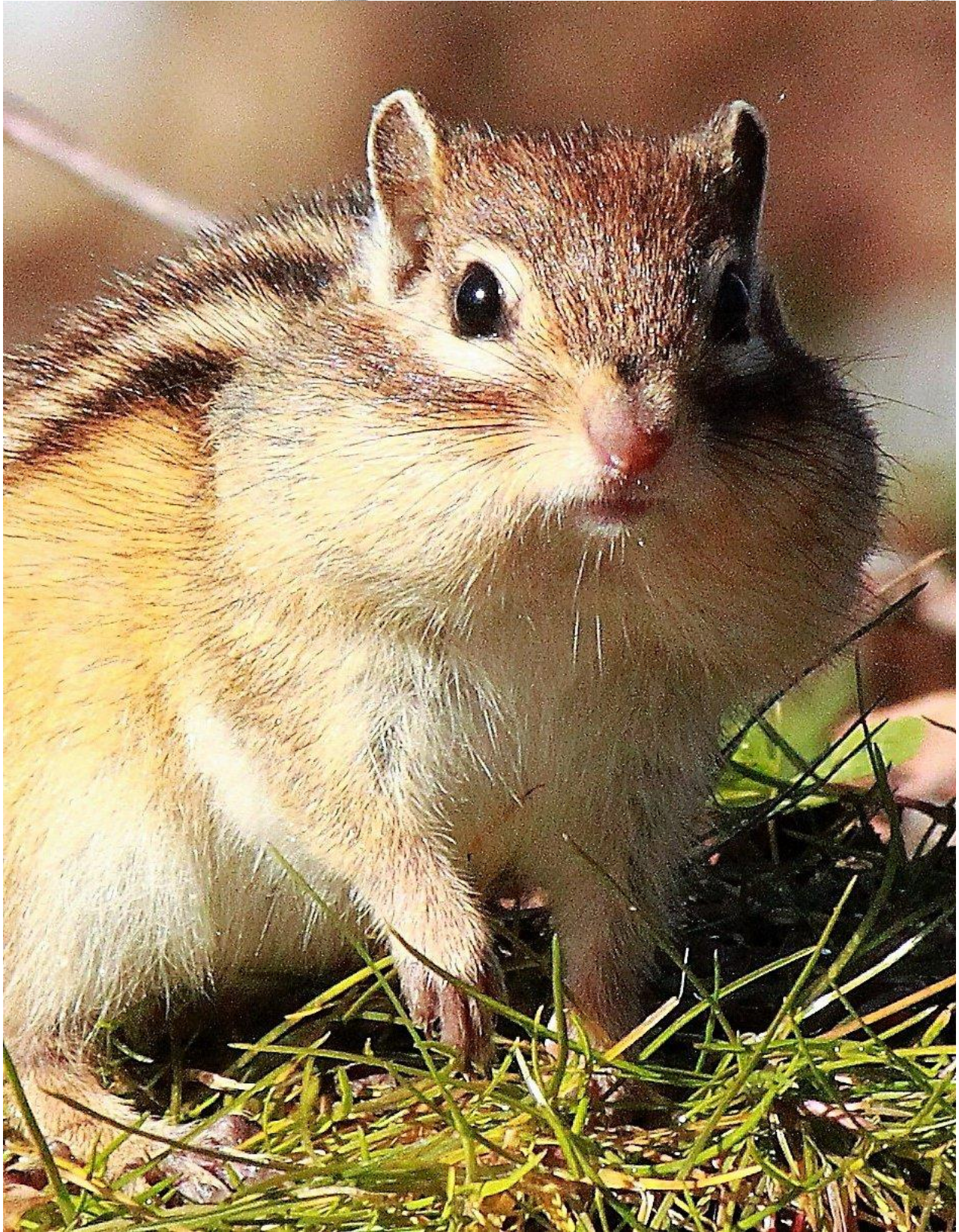


山麓のピョンピョンセンター



【エゾシマリス～11月】久しぶりに山麓でシマリスに出会いました。標高の高い場所での目撃は例年以上に多数あった年でしたが、登山の疲れを癒してくれるシマリス、その数も増えてほしいものですね。さて、山麓のシマリス、冬眠に備えて貯食活動に大忙し。こちらの存在もまったく気にせず……。10月中旬にも目撃しましたが、何やら「ピョンピョン」飛び跳ね～なんと「トンボ」を捕獲中でした。羽根だけを取り去りお口の中へ、実に珍しい光景に出会いました。シマリスは完全な冬眠ではなく、定期的起きて排泄をします。また来年も出会えますように。



【層雲峡峡谷の紅葉～10月↓】朝晩の低温と日中の気温の上昇等で、綺麗な紅葉となりました。色付く条件が重なり、さらにはその状況が続いたことで9月28日辺りから見頃となり、結果的に10月18日までの約20日間という長い期間見頃期となりました。センターで紅葉カレンダーを作成していますが、この20日間は過去10年の中では最も長い見頃の日数となりました。



桜雲景周辺



双槍峰周辺



白川地区周辺



【←虹と峡谷の紅葉～10月PM】雨上りの午後、峡谷上に虹が出ました。何とも贅沢な光景です。虹とは？イコール太陽の光です。虹は太陽がなければ見ることはできません。また、晴れ～雨～晴れと天候が急変する空模様で、夕立後(雨のあと)の太陽がある方向の反対側の空(東の空)に出現します。写真：陸万地区周辺

【雪と峡谷の紅葉～10月→】10月中旬、大雪山一帯に降雪がありました。色付く峡谷の紅葉とマッチして幻想的な光景となりました。この時期、天候が崩れると山岳地帯は雪です。軽装や夏山感覚での入山は即事故につながります。特に今年は、降雪・晴天を繰り返しており、日中もやや暖かくなった影響で軽装登山者が後を絶ちません……。山は既に冬山です!!!

陸万地区周辺



①



③



④

【アカネズミ クルミ食痕～10月 画像④】クルミを食べる時は殻に2つの穴を開けて中身を食べるため、特徴のある食痕になっています。でも、この量では存在がバレバレですね……。



②

【アカネズミ～10月 画像①～③】ネズミが嫌いな方が多そうですが、こうやって見ると中々可愛いですね。頭胴長約80mm、尾長約70mm、体重は約30gです。低地から高山帯までの森林、田畑等に生息しています。夜行性で地表を中心に単独で行動し、地中に巣穴を掘ります。植物の種子や根、茎、昆虫を捕食します。木陰に隠れて観察していましたが、こちらの気配が伝わらない時にはこっそりと顔を覗かせていました。③は約1mの樹木の上にはいましたが、昆虫でも探していたのでしょうか？



【↑晩秋のお楽しみ～10月】紅葉時期の楽しみ方として、まずは見頃期の紅葉観賞がありますが、次いで山岳地帯の降雪による雪と紅葉のコントラストのお楽しみ、そして晩秋の最後のお楽しみ「落葉」です。写真は「ハウチワカエデ」の樹木の下に降り積もった落葉、地面が紅葉しているかのようです。また、風の影響で周辺の樹木の落葉も混ざり、まるでアートのように。下段に載せた葉を、散策をしながら落葉拾いで自然を楽しむことも晩秋のお楽しみの一つです。 * ビジターセンターおすすめの自然観察です。



ダケカンバ (黄～黄褐色) オガラバナ (橙～赤色) ナナカマド (赤～橙色) ウダイカンバ (黄色) イタヤカエデ (黄色) シナノキ (黄色) ハウチワカエデ (赤～橙色) シラカンバ (黄色) エゾヤマザクラ (赤～橙色) ドロノキ (黄～黄褐色) ミズナラ (黄色) カヅラ (黄色)

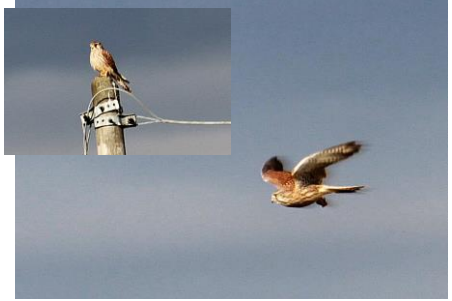


【←霜柱～10月】10月後半の寒い朝、霜柱が見られました。地表や地中の水が凍ってできるもので、大気中の水が凍ってできる「霜」とは異なります。温度変化によって地表面が冷やされ凍り、次に地中の水は毛細管現象で吸い上げられ地表面に向かって移動して凍り、さらに成長したものが霜柱です。最近霜柱を見かけない地域が増えているようですが、寒い冬に多く暖冬では少ないようです。地球温暖化や都市部ではヒートアイランド現象の影響もあるようです。霜柱が起こると土が持ち上げられ植物が根ごと浮き上がり農作物に影響が出ます。様々な手法で地表の温度を地中の温度に近づけ、気温との断熱を行うことで解消されています。この日の早朝の気温はマイナスとなり、大雪山連峰が澄んだ空気で霜柱とともに寒々しく見えました。



【熊フン～10月↓】10月後半に入り、朝晩は相当な冷え込みとなってきましたが、それでも近年にはない程日中が暖くなる日が続きました。写真は「熊のフン」ですが、フンの上になにやら植物が……。よく見るとバラ科のイチゴ系の葉です。この近辺には「ヒメヘビイチゴ」や「キジムシロ」等の果実があり、おそらくイチゴを捕食したと思われるが、気温の上昇とともにイチゴの種から芽がでてきたようです。こういうところからも、ヒグマが何を食べたのかがわかります。 注・でも、見つけたらすぐ離れて下さいね。

【ヒグマ～11月↑】とある林道でキツネを撮ろうと……。ん？なにやら様子が……。笹わらからいきなり体長約1.5mのヒグマが現れました。キツネは慌てふためき、追いかけているわけではないのですが、右に左にジグザクと腰を抜かしながら逃げてきました。キツネもヒグマが怖いのですね。勿論こちらも慌てましたが、数分後斜面を駆け上がり森の中に消えて行きました。ここ数年、林道等では随分とヒグマの痕跡を見ます。餌不足で近間まで下りてきているのでしょう。十分な注意が必要です。 注・車中望遠撮影。



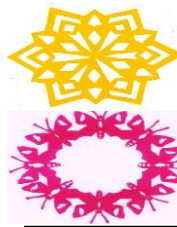
【チョウゲンボウ】 11月 ← 鳥類の中でも奇妙な鳥名がついていますが、名前の由来は諸説あります。凶作が続く村の僧侶、長元坊は岩山に登り、絶食して豊作を祈願します。祈りが通じて豊作となりましたが、稔りを確認した秋に体力がなくなりガケから転落死をしてしまいました。ちょうどその頃、畑の上を飛翔する鳥が……。 村人はこれは豊作をもたらしてくれた「長元坊様」に違いないと思い、毎年稔りの秋になるとやってくるこの鳥を「チョウゲンボウ」と呼ぶようになったとか……。 注・車中望遠撮影。

観察会のおしらせ。

■平成30年度年間講座■

2019年1月12日～2月24日 土日祭日
AM: 銀河ノ滝 PM: ニセイチャロマップ

★★観察会は事前申し込みが必要です★★
★★詳細についてはお問合せください★★



折って切って開いたら、あらすテキ♪
子供から大人まで楽しめます。
参加自由・無料/申し込みは不要です

■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示 皆様のお越しをお待ちしております。
【場所】ビジターセンターレクチャールーム
(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

しきものカレンダー

9月↓		上川・層雲峡気象↓		
9/21	キタキツネ 国道で車の犠牲に	層	10/5 センター前早期最低気温 1℃	
9/23	クマガウ	層	上川町日最低気温 -0.3℃ 霜おりる	
9/26	エゾタヌキ 国道で車の犠牲に	層	10/14 層雲峡温泉峡谷 紅葉見頃続く ここ10年では最長見頃期間	
	エゾオコジョ	黒	10/17 峡谷上部雪被る センター前最高気温 8℃	
9/30	エゾリス、トドノネオオワタムシ(雪虫)	層	上川町最高気温 7.8℃	
10月↓		10/18 センター前最高気温 7℃ 上川町最低気温 -1.4℃		
10/1	エゾシカ ラッティングコール 発情期を迎えたオス鹿が発する鳴き声	層	10/19 センター前最低気温 -2℃ 上川町最低気温 -3.1℃	
10/5	キタキツネ 仔グマ 日暈	上	10/31 上川町最高気温 4.4℃	
10/9	しまリス キタキツネ	上	11/1 センター前最高気温 5℃	
10/10	エゾライチョウ	層	11/4 上川町最低気温 -3.4℃	
10/11	キタキツネ	層	11/8 上川町最低気温 -4.1℃	
10/12	ハクチョウ早くも飛来	上	11/14 センター前最高気温 2℃ 上川町 3.5℃	
10/13	キタキツネ 国道で車の犠牲に	上	11/16 センター前最低気温 -3℃	
	ルリビタキ、キタキツネ、彩雲	上	11/18 上川町最高気温 2.7℃	
10/14	エゾタヌキ 国道で車の犠牲に 熊糞	層	11/20 センター前最高気温 1℃ 上川町最高気温 1℃	
10/15	チョウゲンボウ、キタキツネ	上	黒岳気象他↓	
10/25	エゾタヌキ 国道で車の犠牲に	層	9/23 大雪山系一帯電	
10/26	彩雲、日暈、熊糞、クマガウ	上	9/29 温泉街紅葉見頃期 三国峠紅葉目立つが見頃期	
10/28	ヒグマ	上	10/3 大雪山一帯降雪	
	熊糞(ここ数日の日中の気温の高さで、糞からイチゴ系の葉が芽吹く)	上	10/12 黒岳七合目雪 大雪山一帯雪	
10/30	エゾタヌキ 国道で車の犠牲に	層	10/17 黒岳五合目降雪 大雪山一帯雪	
11月↓			10/28 黒岳五合目降雪 大雪山一帯雪	
11/3	ヒグマ、熊糞	上	(時期的に麓が雨の場合、山岳地帯は雪の可能性が高い為、山岳地帯の雪の情報は提供終了)	
11/4	キタキツネ つがい	上	10/29 峡谷上部雪被る 昨年は10/5	
11/6	エゾモモンガ、ヒレンジャク	上	10/30 層雲峡 上川降雪	
11/7	エゾリス、オツネトントボ、キレンジャク	上	11/11 層雲峡降雪	
11/9	ユリカモメ 内陸部に・・・ レンズ雲 2011年にも確認されています。	上	11/12 層雲峡降雪	
11/11	エゾシカ 国道で車の犠牲に	層	11/13 層雲峡 上川降雪	
11/17	峡谷樹氷	層	11/14 層雲峡 上川降雪	
	オジロワシ	上		
11/19	エゾリス	上		
11/20	キレンジャク・ヒレンジャク	上		



【樹氷～11月↑】

11月下旬、峡谷上に樹氷が見られました。昨年の層雲峡の初雪は10/5、今年は約1ヶ月も遅い10/29、その後も雪は降るものの「ちらちら」程度…。昨年の11月の降雪量が209cm・積雪深が74cm、今年は降雪量が少なくなりそうな11月の様相です。

【熊足跡～11月下旬】中々大きな足跡、まだ冬眠していないようです。11月中旬には多くの個体が冬眠しますが、遅くとも12月初旬には眠りにつきます。まだお腹が空いているのでしょうか・・・？

発行:大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～ 5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2018年11月25日発行 M・K

今月の予てたか

上記にも記載しましたが、2019年1月から講座が行われます。この機会に是非ご参加下さいませ。楽しいですよ～。



白黒紙面でご覧の皆様へ～ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。

氷の世界へ

2019年1月12日～2月24日までの土曜・日曜・祝日

定員:7名
装備レンタル料: ¥1,500
集合: 層雲峡ビジターセンター
集合時刻: 午前の部 09:45 午後の部 13:15
実行: 1時間半～2時間程度

参加対象: 中学生以上 ※未成年は保護者同伴
服装: 防寒着・ニット帽・厚手の手袋・厚手の靴下など、冬の野外活動ができる服装
※天候状況によっては中止する場合があります

問合せ・申し込み 層雲峡ビジターセンター
電話 01658-9-4400 (9時～17時 月曜休館)